

平成29年度 住吉高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

	項目	目標	実施結果と目標の達成状況
①	法令遵守意識の向上（公務外非行の防止・職員行動指針の周知及び徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を損なうことのないよう不祥事の防止に努める	事故防止会議を中心に職員の意識向上を図った。
			服務規律に関する研修を実施した。
②	わいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく人権感覚を高める	生徒の相談体制を整備し組織的な対応により効果的な支援をした。
			セクハラ防止に関する研修を実施した。
			教員と生徒間でSNS等を使用しなかった。
			生徒との連絡は適正な連絡手段で行った。
③	体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導をなくす	生徒の人権を尊重した生徒指導を行った。
			生徒指導は複数で行い不適切な指導を防止した。
④	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を防止する	マニュアルの遵守と形骸化を排除する意識を確立した。
			担任と教科担当者間で生徒の出席状況を共有した。
⑤	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等を適切に管理し、事故防止に努める	評価材料を適正に管理し評価後は速やかに返却した。
			共有フォルダ等のデータを整理し有効に活用した。
			個人情報の持出し許可願を適正に運用した。
⑥	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う	職場の整理整頓に心がけ、清潔な環境で職務に取り組んだ。
			仕事を溜めず抱え込まず、業務の協力体制の構築を推進した。
			業務の引継ぎを確実にを行い、業務を適正に行った。
⑦	会計事務等の適正執行	私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める	適正な私費会計事務処理を履行し事故防止に努めた。
			銀行振込を活用し、できるだけ現金を扱う機会を減らすよう努めた。
			現金は金庫で管理し速やかに口座に入金した。
⑧	入学者選抜に係る事故防止	一人ひとりが責任をもって業務に当たる	各自が入選業務全体を把握し、各自の業務を確実に実施した。
			組織として業務に臨み職員が協力して業務に取り組んだ。

○平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

- ・大きな不祥事はなかったが、点検時の見落としなどがあったので、次年度の引き続き事故防止に向けてゼロプログラムの目標の達成、行動計画の確実な励行に努めたい。